

## 仕事の社会的意味とは何か

—白鷗大学経営学部「現代企業行動論」で考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今日は、白鷗大学からお招きいただいて5月20日(月)に経営学部の1年～4年生の学生にお話をしてきましたので、そのことについてお話させていただきます。
3. 白鷗大学には、経営とは何かについて経営者が直接語るという講座があり、白鷗大学ビジネス開発研究所がその講座を行っています。学生さんは、経営者の話を含めて90分の授業を全部で15回受けます。
4. 放送をお聴きの皆さんの中にも大学生がいらっしゃると思いますのでよく御存知かと思いますが、今の大学は非常に厳格といえますか、厳しい評価をします。1つの科目は、だいたい1学期に90分の授業が15回で2単位です。授業を欠席せず、また、熱心に参加しないと単位を取得するための最終テストも受けられないという厳しいものです。毎時間ごとにレポートを書くことが求められる授業もあります。ですから、以前の大学生とは全く異なり現代の大学生は毎回真剣に授業に出席します。
5. 私がお話しました現代企業行動論、「経営とは何か、経営者が直接語る」というシリーズのお話も、先生方や経営学部の皆さんが非常に熱心に取り組まれて素晴らしいと思います。この講座は経営者の方が何人かお出になり、私は全体で3番目の経営者として登場しました。第1回目は、宇都宮を本拠に中華料理店の「雅秀殿」やラーメン店の「火山」などを幅広く展開なさっている株式会社雅秀殿会長の膝附政義さんが「経営とは何か」を講演なさいました。第2回目は、同じく宇都宮に本拠をおき、コンピュータソフトの会社を創業なさったオリオンコンピュータ株式会社代表取締役の市沢尚子さんが講演なさいました。私が第3回目でした。第4回目は、持続可能な(サステイナブル)社会の実現に向けた住まいづくりの積水ハウス 北関東営業本部長 尾形則昭さんがお話なさいました。第5回目は栃木銀行 経営企画部広報文化室長 戸田陽一さん、第6回目は足利市に本拠があり企業の経営をサポートする浅沼経営センター副会長の浅沼公子さん、第7回目は国際化を視野に事業展開を進めるエンターテイメントカンパニーの株式会社ブルーヒルズ 陳賢徳さんが講演されます。そして最後は、回転寿司チェーンで世界に進出する元気寿司取締役相談役の廣田鶴男さ

んです。このように、経営者の方の講演が8回あり、残りの5回は、先生方が、企業を起こすとはどういうことか・いろいろな環境変化の中で企業をどのように発展させるか・大学で会計を学ぶ意義・経理財務の専門知識の解説・会社を海外に展開させ飛躍させるにはどうしたらよいかという国際経営などについて、基礎から応用までのお話をして経営学についての学生の能力を高めるという講座です。これは、白鷗大学経営学部にあるビジネス開発研究所が栃木県経済同友会の協力を得て行っている講座で、素晴らしい試みだと思います。

6. 私に依頼されたのは、学生時代に一番やっておくべきことは何かについて、若者へのアドバイスをお願いしますということでした。そこで私がお話したのは、卒業後の準備をしてくださいということでした。まずは紙ベースといますか、図書館や御自分で購読なさって毎日、複数の新聞を読んで、世の中の動きを知ってもらいたい。英語で情報を得ることも大事かと思いますので、できれば英字新聞も毎日読んでもらいたい。このようなことをお願いしました。

7. また、大学卒業後に就職して仕事に就くのもよいですが、留学や大学院進学も大事な選択肢ですので、英語以外の言語の新聞にも毎日触れ、たとえ一行でもよいから外国語の新聞を毎日読んで貰いたいと私は希望します。より進んだ勉強をするために積極的な行動を起こしてもらいたいということもお願いしました。日本人は内向きだと言われていますが、そんなことはありません。留学や大学院進学など積極的にどんどんやっていただき、さらなる勉強をしていただきたいと思います。

8. 最後にお願ひしたのは、就職なさる方が大部分ですので、就職の最大の準備についてです。1つ1つの企業や1つ1つのお役所、学校などいろいろな組織には創立の経緯や企業理念があります。また、必ず社会的使命があります。これからお勤めしたい、仕事として一生をかけて行きたいという仕事についての社会的使命とは何か、つまりこの仕事は社会のためにはどのように役に立っているのかをよく考え、十分理解して自分のものとしていただきたいというお話をさせてもらいました。

9. 皆様もお気づきかと思いますが、サービスや製品はいろいろな企業によって提供されますが、製品やサービスの顧客、お客様にとっての意味と何かということ、顧客の問題解決にしなければならぬということです。このように顧客の問題解決になることで顧客が満足する。顧客が満足することによって社会のためになるのです。企業や組織には必ず社会的使命があります。顧客のために何ができるのか・顧客の満足を図ることによって、また、社会のために何ができるのかについては、会社や組織では基本的な考えを必ず持っています。ですから、企業や組織の社会的使命をよく知り、それを自分なりに十分に理解してから就職活動をしていただきたい。そのようなことをお願いしました。

10. 今日は、5月20日(月)に白鷗大学小山キャンパスで経営学部の1年～4年生までの80名の方に「経営とは何か」というお話をさせていただきました。皆様も大学生にいろいろなことを教えてあげてください。よろしくお願ひいたします。

— 2013年9月6日(金)加筆・訂正、林明夫—